**評価根拠を示す記入用紙**

・「評価した理由、根拠資料」の欄（緑色の枠内）に、記入またはチェックをしてください。

・評価の考え方については、できるだけ具体的に内容を記述してください。

・根拠資料として添付した資料については□を■としてください。（記載されている資料の全部ではなく、根拠が確認できる部分の抜粋で構いません）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **評価項目** | **評価した理由、根拠資料名** | **根拠資料No** |
| **Qw1健康性・快適性** |  |  |
| 1空間・内装 |  |  |
| 1.1.1空間の形状・自由さ | 評価の考え方：・柱・耐力壁及びコア等の配置・室形状、間仕切りの設置自由度・その他（自由記述）：根拠資料：□平面図（柱・耐力壁及びコア等の配置がわかる平面図）□平面図（室形状が分かる平面図）□40㎡程度の空間に分割可能である説明資料、ゾーニング図（レベル４以上）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.1.2荷重のゆとり | 評価の考え方：・許容積載荷重：　　　　　　　　　　　　N/㎡・ヘビーデューティーゾーンによるレベルアップ: 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：□構造特記仕様書（設計荷重記載）□構造計算書□ヘビーデューティーゾーンの位置と荷重がわかる平面図等□将来の用途変更を考慮して荷重のゆとりが確認できる資料：□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.1.3設備機器の区画別運用の可変性 | 評価の考え方：・空調、照明区画の細かさ：　　　　　　　㎡・冷房・暖房の選択自由度:　 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：□空調ゾーニング図 □照明ゾーニング図□空調系統図□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.2知的生産性を高めるワークプレイス | 評価の考え方：・知的生産性を高める観点を考慮した計画:　 有 / 無・働き方に即したレイアウト・内装計画：　 有 / 無・ワーカーの意見をフィードバックする計画・体制：　 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：□知的生産性を高める観点を考慮した計画内容（コンセプト等）□働き方に即したレイアウト、内装計画の内容（平面図等）□改善検討計画・体制（運用時は実施状況）に関する資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.3内装計画 |  |  |
| 1.3.1専有部の内装計画 | 評価の考え方：・取組みの数:　 　項目・その他（自由記述）：根拠資料：□ No.1：フロア計画の内装計画への反映が説明できる資料□ No.2：フロアに求められる機能を反映した内装計画の内容を説明できる資料□ No.3：照明計画と内装計画の一体的な計画内容が説明できる資料□ No.4：インテリアパース□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.3.2共用部の内装計画 | 評価の考え方：・共用部における内装材の統一感:　 有 / 無　 　・共用部における内装材のデザイン性:　 標準的 / 高い・空間用途に応じた内装計画:　 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：□内装材の統一感、デザイン性等を説明する資料（内装計画図、建具リスト等）□空間用途に応じた内装計画内容がわかる資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.4作業環境 |  |  |
| 1.4.1オフィス什器の機能性・選択性 | 評価の考え方：・作業環境に配慮したオフィス什器:　 有 / 無　 　・オフィス什器の選択性:　 有 / 無・多様なワークスタイルに対応した什器の選択性:　 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：□ 作業環境に配慮した什器（調整機能を有した什器）の導入計画、配置計画など□ 作業内容に即した什器計画を説明する資料□ 多様なワークスタイルの想定とそれに対応した什器の導入・設置計画を説明する資料□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.4.2 ＯＡ機器等の充実度 | 評価の考え方：・取組みの数:　 　項目・その他（自由記述）：根拠資料：□ No.1：対象フロア内でWifi環境が整っていることを説明する資料 □ No.2：拡張用モニターの設置個数、ワーカー数に対する利用可能率がわかる資料□ No.3：セキュアプリントの導入状況がわかる資料 □ No.4：個人用の電話、内線電話の携帯化が説明できる資料 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.5広さ | 評価の考え方：・１人当たりの執務スペース:　 　　　㎡・その他（自由記述）：根拠資料：□一人当たりの執務スペース、居室等の面積が確認できる資料（建築平面図、利用人数等）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.6外観デザイン | 評価の考え方：・評価ポイント:　 　　　点・その他（自由記述）：根拠資料（評価内容に応じて）：1）建物の配置・形態等のまちなみへの調和□周辺建物とどのように調和を図っているのかが説明した資料□工夫した点の詳細が確認できる資料（図面、写真等）□計画建物の内容が確認できる資料（写真・パース：主要な眺望点から見たもの）□対象地域の景観形成方針（ガイドライン等）□景観について行政等との協議資料（協議が必要な場合）□近隣説明会等計画説明内容が受け入れられたことを確認できる議事録（説明が必要な場合）□街並み等への貢献を表彰する顕彰制度での受賞歴（受賞歴がある場合）２）植栽による良好な景観形成□植栽による景観形成の方針が確認できる資料（図面、計画方針やコンセプトが判る説明資料）３）景観の歴史の継承□歴史的な景観について工夫した点が確認できる資料（図面、写真、その他説明資料等）４）地域性のある素材による良好な景観形成□地域性のある素材の使用箇所と詳細が確認できる資料（図面、写真など）５）周辺の主要な視点場からの良好な景観形成□主要な視点場から見た写真・パース□主要な視点場をどこに設定したのか図中に示し、その理由を記載した資料6）優れた外観デザイン□オフィスを利用している以外の人に対する認知性の高さを説明する資料□オフィス利用者の労働意欲向上への貢献を説明する資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 2音環境 |  |  |
| 2.1室内騒音 | 評価の考え方：・室内騒音レベル：　　　　　　　dB(A)※竣工前（設計段階）は目標値、竣工後（運用時）は測定結果とする・その他（自由記述）：根拠資料：・竣工前（設計段階）□目標値を達成するための設計における取組が分かる資料（仕様書 等）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）・竣工後（運用時）□執務環境の騒音レベル測定結果□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 2.2吸音 | 評価の考え方：・吸音材の使用箇所： 壁 / 床 / 天井・執務者が集中できる環境の提供（レベル５対応）： 有 / 無・オフィスや会議室の騒音感覚を緩和する装置の導入によるレベルアップ： 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：・吸音材の使用箇所とその仕様が確認できる資料□吸音材の使用箇所と仕様（種類）が分かる図面（平面図・矩計図 等）□吸音材の使用面における使用面積割合が分かる計算書・執務者が集中できる環境の提供によりレベル５としている場合□提供する空間の概要を説明する資料（平面図・仕様書 等）□十分数が提供できていることを説明する資料（使用状況 等）・オフィスや会議室の騒音感覚を緩和する装置を設置によりレベルアップしている場合□装置の仕様書 □装置の使用範囲が30%以上であることが確認できる資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 3光・視環境 |  |  |
| 3.1自然光の導入 | 評価の考え方：・開口率：　　　　　　　　　％・その他（自由記述）：根拠資料：・開口率が確認できる資料□平面図□立面図□計算書□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 3.2グレア対策 |  |  |
| 3.2.1開口部のグレア対策 | 評価の考え方：・対策の種類： スクリーン / オーニング / 庇 / ブラインド / 自動制御ブラインド等 / その他・フリーアドレス制などの採用によるレベルアップ: 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：・対策が確認できる資料□対策の仕様及び設置位置が分かる資料（平面図, 矩計図, 仕様書 等）・フリーアドレス制などの採用によりレベルアップしている場合□作業場所を選択可能な執務者の割合が確認できる資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 3.2.2照明器具のグレア対策 | 評価の考え方：・照明器具のグレア分類： V / G0 / G1 / G2/ G3※グレア分類表に当てはまらない場合は、相当する分類とする・フリーアドレス制などの採用によるレベルアップ: 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：・対策が確認できる資料□器具の分類が確認できる資料（仕様書, カタログ 等）・フリーアドレス制などの採用によりレベルアップしている場合□作業場所を選択可能な執務者の割合が確認できる資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 3.3照度 | 評価の考え方：・照明方式： 全般照明方式 / タスクアンビエント照明 / その他（　　　　　　　　　　　　　）・全判照明の場合　机上面照度：　　　　　lx・タスクアンビエント照明の場合 　タスク照度：　　　　　lx, アンビエント照度：　　　　　lx・レベル5の場合　壁面照度：　　　　　ｌｘ, 天井面照度：　　　　　　ｌｘ・フリーアドレス制などの採用によるレベルアップ: 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：・照度が確認できる資料□照度分布図□実測結果・フリーアドレス制などの採用によりレベルアップしている場合□作業場所を選択可能な執務者の割合が確認できる資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 4熱・空気環境 |  |  |
| 4.1空調方式及び個別制御性 | 評価の考え方：・空調方式（吹出し方式）：・個人単位での個別制御性：　有 / 無・革新的な空調制御技術の導入によるレベルアップ： 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：□空調方式（吹出し方式）、吹出口の仕様が分かる資料・革新的な空調制御技術の導入によるレベルアップしている場合□技術の概要が確認できる資料（技術資料 等）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 4.2室温制御 |  |  |
| 4.2.1室温 | 評価の考え方：・空調設備容量算定における設定室温：　夏期　　　℃、冬期　　　℃・空調設備容量算定における想定条件（設計用屋外条件 等）：　・好みの温冷感に適した作業場所の選択性によるレベルアップ： 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：□空調設備容量の算定根拠（計算書 等）□実際に導入した設備の仕様書・作業場所の選択性によりレベルアップしている場合□温冷感の異なる執務環境が提供されていることが確認できる資料（実測結果等）□作業場所を選択可能な執務者の割合が確認できる資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 4.2.2外皮性能 | 評価の考え方：・CASBEE-新築の評価結果：　レベル○ / 無し・窓システム性能値　SC：　　　　U：　　　　W/m2K・外壁　U：　　　　　W/m2K・屋根　U：　　　　　W/m2K・床（ピロティがある場合）　U：　　　　　W/m2K・好みの温冷感に適した作業場所の選択性によるレベルアップ： 有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：□CASBEE-新築の評価結果・性能値が確認できる資料□計算書□窓システムの仕様が確認できる資料（図面、仕様書等）□外壁・その他の仕様が確認できる資料（図面、仕様書等）□試験結果等の技術資料・作業場所の選択性によりレベルアップしている場合□温冷感の異なる執務環境が提供されていることが分かる資料□作業場所を選択可能な執務者の割合が確認できる資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 4.3湿度制御 | 評価の考え方：・加湿機能及び冬期の設計湿度：　有 / 無、　設計湿度　　　　%・除湿機能及び夏期の設計湿度：　有 / 無、　設計湿度　　　　%・その他（自由記述）：根拠資料：□加湿機能・除湿機能の仕様書□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 4.4換気性能 |  |  |
| 4.4.1換気量 | 評価の考え方：・換気方式：　中央管理方式 / 中央管理方式以外・中央管理方式の場合、1人当たりの換気風量（外気導入量）：　　　　　m3/h 人・中央管理方式以外の場合、法規に対する倍率：　　　　　　倍・その他（自由記述）：根拠資料：□換気風量計算書□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 4.4.2自然換気性能 | 評価の考え方：・窓の開放による自然換気：　可 / 不可・開放可の場合：　居室床面積に対する自然換気有効開口面積　　1/○ 以上・開放不可の場合：　自然換気有効開口面積　　　　　cm2/m2以上・外気冷房の有無及び風量：　有 / 無　　　必要外気量の対する倍率　　　　倍・その他（自由記述）：根拠資料：・自然換気有効開口面積が確認できる資料□平面図□立面図□計算書・外気冷房の風量が確認できる資料□計算書（必要外気量に対する倍率）□外気冷房設備の仕様書□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 5リフレッシュ |  |  |
| 5.1オフィスからの眺望 | 評価の考え方：・事務室の天井高さ：　　　　　m・すべての執務者が十分な屋外の情報を得られる窓：　有/無・事務室から屋外の見える窓：　有/無・窓から大規模な緑地、河川、海などの良好な景観を臨むことができる場合のレベルアップ：有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□CASBEE-新築の評価結果□平面図□断面図□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 5.2室内の植栽・自然とのつながり | 評価の考え方：・執務空間における植栽：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□執務空間内の写真□執務空間内のイメージ写真・図等□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 5.3室外（敷地内）の植栽・自然とのつながり | 評価の考え方：・外構、テラス、屋上などで植栽、自然に触れられる取組み：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□CASBEE-新築の評価結果□JHEP やJBIB による評価ツールの活用の根拠となる資料□JHEP のAランク認証以上等を示す資料□評価する取組みを説明する資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 5.4トイレの充足性・機能性 | 評価の考え方：・空気調和・衛生工学会規格「給排水衛生設備基準・同解説SHASE－S206-2009」にある器具適正個数のレベル：　　　　　・その他(自由記述)：根拠資料：□器具個数の計算書□平面図□給排水・衛生図□多様な利用者を意識した設計である場合は、その取組み、計画内容を示す資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 5.5給排水設備の設置自由度 | 評価の考え方：・執務室内に後からキッチン、パントリーなどの水廻り空間の設置：　可/不可・各階専有部のパントリーの標準設置：有/無・水回り空間の面積率：執務室の　　　　　　　　%・その他(自由記述)：根拠資料：□配管系統図等□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 5.6リフレッシュスペース | 評価の考え方：パターン1・建物内のリフレッシュスペース：　有/無・各階共用部のリフレッシュスペース：　有/無・自動販売機またはウォーターサーバ：　有/無・快適なリフレッシュスペース：　有/無・建物内に多様なニーズに応える複数タイプのリフレッシュスペース：　有/無・その他(自由記述)：パターン2，3・専有部もしくは建物内のリフレッシュスペース：　有/無・建物内の一部のリフレッシュスペース：　有/無・自動販売機またはウォーターサーバ：　有/無・快適なリフレッシュスペース：　有/無・建物内に多様なニーズに応える複数タイプのリフレッシュスペース：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□CASBEE-新築の評価結果□平面図□リフレッシュスペースの状況を示す資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 5.7食事のための空間 | 評価の考え方：パターン1・建物内で食事や軽食をとるスペース：　有/無・建物内で快適な食事や軽食をとるスペース：　有/無・建物内で快適かつ簡易な調理も可能な食事や軽食をとるスペース：　有/無・その他(自由記述)：パターン2，3・建物内もしくは専有部で食事や軽食をとるスペース：　有/無・建物内もしくは専有部で快適な食事や軽食をとるスペース：　有/無・建物内もしくは専有部で快適かつ簡易な調理も可能な食事や軽食をとるスペース：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□平面図□食事や軽食をとるスペースの状況を示す資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 5.8分煙対応、禁煙対応 | 評価の考え方：・喫煙ブースの有無：　有/無・外構に喫煙スペース：　有/無・建物内全体禁煙：　有/無・排煙設備のない室における空気清浄機の設置：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□換気系統図等□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 6運動 |  |  |
| 6.1運動促進・支援機能 | 評価の考え方：・運動を促進・支援する機能：　有/無・敷地内にジム機能を有する施設やスポーツ施設：有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□平面図□運動を促進・支援する機能のレベルを示す資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 6.2階段の位置・アクセス表示 | 評価の考え方：・階段の使用を促進する表示：　有/無・アクティブ・デザイン：　有/無・執務室内の吹き抜け階段：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□階段の使用を促進するサイン図□平面図□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **Qw2利便性** |  |  |
| 1移動空間・コミュニケーション |  |  |
| 1.1動線における出会いの場の創出 | 評価の考え方（自由記述）：根拠資料：□評価の考え方が確認できる資料（図面、写真　等）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.2EV利用の快適性 | 評価の考え方：・評価した項目の番号：・その他（自由記述）：根拠資料：□ 「① ５分間輸送能力」が確認できる資料（仕様書、計算書 等）□ 「② 安全・耐震基準への対応」が確認できる資料（仕様書、カタログ 等）□ 「③ 荷物搬入用エレベーターの設置」が確認できる資料（平面図 等）□ 「④ 冷暖房設備の設置」が確認できる資料（仕様書、カタログ 等）□ 「⑤ 内装・サイン計画」が確認できる資料（図面、写真 等）□ 「⑥ 待ち時間対策」が確認できる資料（仕様書、写真、カタログ 等）□ 「⑦ エレベーターバンク可変制御」が確認できる資料（仕様書 等）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.3バリアフリー法への対応 | 評価の考え方：・床面積：　　　　　　　m2・建築物移動等円滑化基準　適合項目数：　　　　　適合割合：　　　　　%・建築物移動等円滑化誘導基準　適合項目数：　　　　　適合割合：　　　　　%・その他（自由記述）：根拠資料：□建築物移動等円滑化基準チェックリスト□建築物移動等円滑化誘導基準チェックリスト□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.4打ち合わせスペース | 評価の考え方：・パターン： 1 / 2 / 3・建物内（共用部）における打合せスペースの有無：　有 / 無・打合せスペースの量：　充足 / 一時的に不足 / 不足・（レベル5の場合）打合せスペースのバリエーション（自由記述）：・その他（自由記述）：根拠資料：□建物内（共用部）における打合せスペースの設置状況が確認できる資料（平面図 等）□建物内（専有部）における打合せスペースの設置状況が確認できる資料（平面図 等）□打合せスペースの利用状況（充足率）が確認できる資料□レベル５に対応した打合せスペースの概要が確認できる資料（図面、写真 等）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 2情報通信 |  |  |
| 2.1高度情報通信インフラ | 評価の考え方：・OA機器用コンセント容量：　　　VA/m2・50 VA/m2以上のゾーンの設置：　有 / 無・その他（自由記述）：根拠資料：□OA フロア等、執務室に偏在的な電力供給と情報通信網の敷設が可能であることが分かる図面（レベル2 以上）□代表的な空間の1m2あたりのコンセント容量の算出資料（レベル2 以上）□通信用の配線その他の設備スペースがあることが分かる図面（レベル3 以上）□サーバー設置が可能な空間のコンセント容量が分かる資料（レベル5）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **Qw3安全・安心性** |  |  |
| 1災害対応 |  |  |
| 1.1耐震性 |  |  |
| 1.1.1躯体の耐震性能 | 評価の考え方：・現行の建築基準法への適合：　適合　/　不適合・建築基準法に定められた対戦性に対する割増率：　　　　　％増・その他（自由記述）：根拠資料：□建築確認済証□建築基準法に定められた耐震性の割増率がわかる資料（構造計算書など）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.1.2免振・制振・制震 | 評価の考え方：・揺れを抑える装置の有無：　有り （免震 、制震 、制震）　/　無し・内部設備保護が図られている範囲:　部分的　/　建物全体・その他（自由記述）：根拠資料：□内部設備保護対策の実施状況とその範囲を説明する資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.1.3設備の信頼性 | 評価の考え方：・取組みの数:　 　　項目・その他（自由記述）：根拠資料：□ No.1：非常用発電機の設置計画、設置状況を説明する資料□ No.2：無停電電源設備の導入計画、導入状況を説明できる資料□ No.3：重要設備系の受電設備の二重化を説明する資料□ No.4：浸水対する措置□ ｱ)電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている□ イ)地下への浸水の防止措置、排水設備(ポンプ等)を設置している□ ウ) 浸水の危険性がない□ No.5：電源車接続時に利用可能な照明等の配線設置の状況を説明する資料□ No.6：異なる変電所からの引き込みを二重化している状況を説明する資料 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.2災害時エネルギー供給 | 評価の考え方：・非常用発電機の有無:　 有　/　無・非常用発電機の発電容量:　　　　　　kW　（法令水準　　　　　kW）・非常用発電機の稼働可能時間:　　　　　　時間　（法令水準　　　　　時間）・建物の基幹機能や共用部におけるサービスの可否:　　可　/　否・建物の専有部におけるサービスの可否:　　可　/　否・その他（自由記述）：根拠資料：□ 非常用発電機の容量と稼働時間を説明する資料□ 非常用発電機によるサービス可能範囲を説明する資料□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 2有害物質対策 |  |  |
| 2.1化学汚染物質 | 評価の考え方：・評価方法:　 仕様評価　/　計測実績評価・F☆☆☆☆の適用範囲・面積:　　床　・　壁　・天井　・天井裏　　（適用面積比率　　　　％）・室内濃度（計測実績評価の場合）: μg/㎥・ホルムアルデヒド以外のVOC放散量が少ない建材の採用:　有　/　無・その他（自由記述）：※竣工前（設計段階）は仕様による評価とする。竣工後（運用時）は仕様評価の他、計測実績による評価でもよい。根拠資料：・仕様評価の場合□ 使用建材をF☆☆☆☆仕様とすることなどを説明する資料（特記仕様書など）□ F☆☆☆☆建材の適用範囲が明示されている資料、面積の計算書・計測実績評価の場合□ 室内濃度計測のレポート（計測実績評価の場合）□ ホルムアルデヒド以外のVOC放散量が少ない建材の使用状況を説明する資料□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 2.2有害物質を含まない材料の使用 | 評価の考え方：・PRTR法の対象物質を含有しない建材種別の数:　　　　　　つ・その他（自由記述）：根拠資料：□ SDS（Safety Data Sheet）□　対象物質を含有しないことを証明するメーカー資料等□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 2.3有害物質の既存不適格対応 |  |  |
| 2.3.1アスべスト、PCB対応 | 評価の考え方：・アスベスト含有建材等:　不使用・除去済 /　使用・未除去 ・PCB含有機器類の使用：　有　/　無・その他（自由記述）：※新築建築物では対象外根拠資料：□ アスベストの封じ込め・囲い込みが実施された状況を説明する資料□　PCBが適切に管理されていることを説明する資料□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 2.3.3土壌汚染等対応 | 評価の考え方：・形質変更時要届出区域の指定：　有　/　無・自主努力による無害化措置の実行：　有　/　無 ・その他（自由記述）：根拠資料：□ 形質変更時要届出区域に指定されていることを説明する資料□ 自主努力による無害化措置の実行により、区域指定を解除したことを説明する資料□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 3水質安全性 |  |  |
| 3.1水質安全性 | 評価の考え方：・水質安全対策の実施項目数:　　　　　　項目・各階等におけるミネラルウォーターサーバー等の有無：　有　/　無・その他（自由記述）：根拠資料：□ No.1：給水管における水質劣化防止対策を説明する資料（特記仕様書等）□ No.2：給水機器における水質劣化防止対策を説明する資料（特記仕様書、機器リスト等）□ No.3：給湯管における水質劣化防止対策を説明する資料（特記仕様書等）□ No.4：給湯機器における水質劣化防止対策を説明する資料（特記仕様書、機器リスト等）□ No.5：受水槽、圧力水槽、高架水槽等における水質劣化防止対策を説明する資料□ No.6：飲用不可の給水箇所における明示□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 4セキュリティ |  |  |
| 4.1セキュリティ設備 | 評価の考え方：・防犯対策の実施項目数:　　　　　　項目・その他（自由記述）：根拠資料：□ No.1：監視カメラの設置計画もしくは設置状況を説明する資料 □ No.2：窓等の人感センサーの設置計画もしくは設置状況を説明する資料□ No.3：窓等の開口部センサーの設置計画もしくは設置状況を説明する資料□ No.4：入隊管理システムの導入計画・導入状況を説明できる資料□ No.5：管理人の常駐計画もしくは状況を説明する資料□ No.5：24時間のセキュリティーサービスの加入計画もしくは加入状況を説明する資料□ No.6：専有部の夜間入退館カードシステムの計画、導入状況を説明する資料□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **Qw4運営管理** |  |  |
| 1維持管理計画 |  |  |
| 1.1維持管理に配慮した設計 | 評価の考え方：・評価する取組みにおいて該当する項目数：　　　　・その他(自由記述)：根拠資料：□CASBEE-新築の評価結果□評価する取組みを説明する設計図書□内装仕上げ・外装仕上げに関する特記仕様書□衛生図□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.2維持管理用機能の確保 | 評価の考え方：・評価する取組みにおいて該当する項目数：・その他(自由記述)：根拠資料：□CASBEE-新築の評価結果□平面図□給排水・衛生図□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.3維持保全計画 | 評価の考え方：・維持保全計画：　有/無・事後保全の実施：　有/無・予後保全の実施：　有/無・維持保全計画の定期的な更新：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□維持保全計画の詳細を示す資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.4維持管理の状況 |  |  |
| 1.4.1定期調査・検査報告書 | 評価の考え方：・定期調査・検査の報告の提出：　有/無・建物側による自主的な追加調査の実施：　有/無・全ての調査・検査記録などの保管：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□定期調査・検査報告書□自主的追加調査の結果報告書□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.4.2維持管理 | 評価の考え方：・建築物衛生基準の「空気環境の調整」における基準への適合：　適合/不適合・建築物衛生基準の「空気環境の調整」における基準の記録の保管：　有/無・基準を超えた取組み、調査の実施：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□建築物衛生基準の「空気環境の調整」の結果を示す資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 1.5中長期保全計画の有無と実行性 | 評価の考え方：・中長期保全の体制：　有/無・中長期保全の計画の実行：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□中長期保全計画書□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 2満足度調査 |  |  |
| 2.1満足度調査の定期的実施等 | 評価の考え方：・満足度調査の定期的な実施：　有/無・満足度調査を以降の改善策に活用：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□満足度調査結果□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 3災害時対応 |  |  |
| 3.1　BCPの有無 | 評価の考え方：パターン1・ビル運営のBCPの作成：　有/無・入居組織のBCPの把握：　有/無・ビル運営側と入居側の相互連携体制：　有/無・震災被災後のビルの被災状況を把握するシステムの導入：　有/無・その他(自由記述)：パターン2,3・入居組織のBCPの作成：有/無・入居組織のBCPを実現する設備：　有/無・ビル運営、入居組織の相互連携体制：　有/無・定期的な運用状況のチェック・更新：　有/無・震災被災後のビルの被災状況を把握するシステムの導入：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□BCP計画書等□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 3.2消防訓練の実施 | 評価の考え方：・消防計画の作成：　有/無・法令及び消防計画に基づく消防訓練の実施：　有/無・消防訓練への参加人数増加のための取組：　有/無・その他(自由記述)：根拠資料：□消防計画書等□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 3.3AEDの設置 | 評価の考え方：・建物内のAEDの設置：　有/無・条例で定められたAEDの設置台数：有/無・条例で定められたAEDの設置位置：　適合/不適合・その他(自由記述)：根拠資料：□ AED 設置位置とガイドライン等との関係がわかる資料□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **Qw5プログラム** |  |  |
| 1メンタルヘルス対策、医療サービス | 評価の考え方：・メンタルヘルス対策の有無:　　有　/　無※パターン２，３の場合は、健康診断・ストレスチェック実施の有無）・資格を持つカウンセラー等のサポートの有無:　　有　/　無・独自のメンタルヘルス対策の有無:　　有　/　無・その他(自由記述)：根拠資料：□ メンタルヘルス対策の内容と実施状況が説明できる資料□ 健康診断もしくはストレスチェックの実施状況と受診率が説明できる資料 □ 資格を持つカウンセラー等のサポートの設置状況が説明できる資料□ 独自のメンタルヘルス対策の内容と実施状況が説明できる資料□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 2社内情報共有インフラ | 評価の考え方：パターン１・ビル内の取組みを周知する媒体の有無:　　有　/　無・ビル利用者の意見を受け付ける窓口の有無:　　有　/　無・その他(自由記述)：パターン２、３・勤怠管理、業務管理等の社内インフラでの実施状況:　　有　/　無・データや資料を安全に共有できる仕組みの導入状況:　　有　/　無・コミュニケーションの円滑化を促進する仕組み導入状況:　　有　/　無・その他(自由記述)：根拠資料：パターン１□ ビル内の取組みを周知する媒体の稼働状況が説明できる資料□ ビル利用者の意見を受け付ける窓口の開設状況と利用状況が説明できる資料パターン２、３□ 勤怠管理、業務管理等の社内インフラの内容が分かる資料□ データや資料を安全に共有できる仕組みの内容が分かる資料□　コミュニケーションの円滑化を促進する仕組みの内容と利用状況がわかる資料□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 3健康増進プログラム | 評価の考え方：　・健康増進プログラムの実施項目数:　　　　　　項目根拠資料：□ No.1：社内での運動を促進するクラブ活動の内容とその利用状況を説明する資料□ No.2：健康を増進するクラブ活動への補助の実施内容と利用状況を説明する資料 □ No.3：交流促進イベント等の実施内容と利用状況を説明する資料□ No.4：フィットネスクラブ等への費用補助の実施内容と利用状況を説明する資料□ No.5：セミナー等の実施内容と参加状況を説明する資料□ No.6：日々の健康状態をモニタリングする装置による取組み内容と利用状況を説明する資料□ No.7：健康保険組合等による健康増進プログラムの実施内容と参加状況を説明する資料 □ No.8：その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |